

多治見市 北小木地区

令和5年度

【地域の概要】

- 多治見市の農業は、市中心部と北西部に流れる川により形成された農地及び、山間部の小盆地の底部に形成された農地からなる。
- 北小木地区は多治見市の北西に位置し、犬山市に隣接する。
- JR東海太多線姫駅から南南西方向へ約3kmの場所にあり、小さな山間盆地である。
- 地区内の農地（約8ha）は、大半が水田として利用されている。

①取組開始前の状況や課題

北小木地区の農用地の状況

- 中山間地であるため集積できる農地の面積に限界がある。

将来的な課題

- 将来に渡って安定した水稻生産の維持及び経営支出の安定化が課題となっている。



北小木地区の様子

②取組内容

「地域計画」策定に係る連携会議開催（令和5年10月）

- 農業委員、地域の農業者、JA、県関係者が参加、目標地図の作成について説明
- 「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化
「地域計画」は、令和7年3月末までが策定期限
- 現況地図を農業者が確認し、現況との整合性を確認



第1回協議の場設置（令和6年1月）

- 確認した地図に基づいて、農業委員会と農政担当者が目標地図素案を作成し、協議の場において農業者に提示
- 「地域計画」について、「人・農地プラン」からの変更点や「地域計画」の記載内容について、農業者及び関係者で確認し今後の方向性について協議



協議状況

③今後の展開と方向性

農業の将来の在り方並びに目標について

- 水稻を中心とした農業経営を行う。機械化により、作業効率を高め、化学肥料の低減や従事者の負担軽減を図り、稲の高温耐性品種への切り替えや新たな作物の検討を進める。
- 地域の農業の大半は、農事組合法人北小木営農が担っていく。